

2024年度(令和6年度)
国内放送番組編集の基本計画

メディア総局

NHK

編集の基本方針

NHK経営計画(2024-2026年度)の1年目、2024年度には、受信料値下げの通年化による事業支出の削減が始まります。これまでとは異なる経営環境のもとで、いかにして視聴者のみなさまの関心に応え、NHKならではのコンテンツで放送・サービスの質を向上させていくのか。この課題に全力で取り組みます。

そのためには、NHKが実現すべき公共的な価値とは何かを突き詰めて、放送・サービスの選択と集中を進め、経営資源を最適に配分していく必要があります。

命と暮らしを守る災害・減災報道。信頼のジャーナリズムの構築。民主主義の一翼として平和で持続可能な世界の構築への貢献。時代に即した教育コンテンツの充実。未来を見つめる教養・エンターテインメントコンテンツの開発。幅広いジャンルでの多様性の確保。これら6つにしばって重点事項を掲げました。

これにより、情報空間が放送以外に広がるデジタル時代に情報の真実性・信頼性を確保するため、社会の基本情報の提供や民主主義の基盤となる多様な価値観への相互理解の促進といった、公共メディアの役割を果たします。

また、「放送ガイドライン」で定めた基本的な姿勢を再確認し、放送倫理や人権の尊重、コンプライアンス意識の徹底をはかります。

2025年3月は、放送が始まってから100年の節目です。これから先の100年も、「NHKは必要、あってよかった。」と視聴者のみなさまに思っただけのよう、公共的な価値を創造し、健全な民主主義の発達に貢献します。

2024年度 6つの重点事項

1. 放送とデジタルが連携して 災害・減災報道を進化
2. 拡大する情報空間で 信頼のジャーナリズムを構築
3. 民主主義の一翼を担い 平和で持続可能な世界の構築に貢献
4. 社会の変化に応じて 学びのコンテンツを深化
5. 放送100年 未来を見つめ人生を豊かにするコンテンツを開発
6. 幅広いジャンルで 多様性を確保

6つの重点事項の具体的施策

1. 放送とデジタルが連携して 災害・減災報道を進化

■ 必要な情報を最適なタイミングと媒体で届けて 災害から命と暮らしを守る

災害が起きた時、いつ、どのような情報をどのような媒体で発信すると効果的なのか。テレビ、ラジオ、インターネットが連携し、それぞれの特性を生かした伝達方法で、一人ひとりの命と暮らしを守る備えと対応に直結する情報をきめ細かく提供します。

■ デジタルコンテンツの進化で行動変容につながる減災情報を提供

ハザードマップ、リアルタイムの被害情報、土砂災害・浸水などの危険度情報をデジタル技術で重層的に組みあわせてコンテンツの高度化をはかり、放送に展開。防災意識の向上や迅速な避難行動の実現につなげます。

2. 拡大する情報空間で 信頼のジャーナリズムを構築

■ 情報空間が拡大する中で放送の真実性と信頼性を確保

デジタル化の恩恵が広がる一方で、情報空間全体における健全性を確保する観点から、放送の真実性と信頼性を高めることがより一層求められています。信頼できる情報の提供や多様な価値観への相互理解の促進など、公共メディアの役割を果たすだけでなく、取材源の秘匿の妨げにならない範囲で取材・制作過程の透明化を進めることで、“顔の見える”信頼のジャーナリズムを構築します。

■ デジタルを活用した新たな調査報道を強化

SNSなど公開されている情報をもとに真実を探るデジタル調査報道や AI 技術を駆使して研究論文を解説・分析し医療・健康情報などの科学的根拠を示す新たな手法といった、NHKならではの強みを発揮した検証報道を強化。拡大する情報空間で、頼られる公共メディアを目指します。

3. 民主主義の一翼を担い 平和で持続可能な世界の構築に貢献

■ 民主主義の発達と持続可能な社会の実現に貢献

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻など、国際秩序は混迷を極め、民主主義は危機にひんしています。また、気候変動の進行に伴う異常気象は世界中の人々に深刻な影響を及ぼし続けています。世界の今を読み解き、次の時代を確かなものにするための道筋を示すことで、表現の自由が保障され民主主義の価値観が尊重される、平和で持続可能な社会の実現を目指します。国際放送との連携で、日本、そして世界へと発信します。

■ 人口減少社会、物価高など 日本の課題の処方箋を提示

少子高齢化の加速による人口減少社会の到来、物価高が続く中での実質賃金の目減りなど、山積する日本の社会課題を深く掘り下げます。そして、視聴者のみなさまとともに、誰もが安心した暮らしを享受できる社会に向けた解決策を探ります。

4. 社会の変化に応じて 学びのコンテンツを深化

■ 世界に通用する幼児・子どもコンテンツの開発に着手

テレビ放送開始日から70年以上、継続して子ども番組を提供してきた草分けとして、新たな価値観やライフスタイルの変化に対応し、国内だけでなく世界に通用する幼児・子どもコンテンツの新たな番組やキャラクターの開発に着手します。

■ 時代に即した学校教育コンテンツへと刷新

ICT(情報通信技術を活用した)教育に対応したNHKならではの高品質な映像コンテンツや子ども向けのニュースを開発。子どもを中心にすえた多様な学習支援のスタイルを提供します。また、ジャーナルな視点で教育現場が抱える課題を明らかにし、それを乗り越えようとする家庭、学校、地域の取り組みなどを紹介します。

■ 大人の学びを支援する社会教育コンテンツを充実

新しい知識・技術の学び直しや幅広い教養の獲得、学問の深い探究など、社会人やシニア層の知的好奇心を満たすコンテンツの充実を図ります。子どもから大人まであらゆる世代の学びを支える教育放送としての役割を果たします。

5. 放送100年 未来を見つめ人生を豊かにするコンテンツを開発

■ 放送100年を契機に NHKの強みを発揮するコンテンツを開発

放送開始100年を迎えるメディアとして、幅広い世代に支持される高品質なドラマやエンターテインメント、深い取材に裏打ちされたドキュメンタリーなどのコンテンツを、NHKが培ってきた知見や新たに生み出す技術で開発。人間の未来を応援する、ポジティブで成熟したメッセージを発信します。そして、未来への資産となる映像・音声コンテンツを制作していきます。

■ 映像・音声資産を活用して 新たな価値を提供

NHKが保有する多彩なアーカイブスの新たな価値の発掘に努めます。ドラマやドキュメンタリーなどの名作は4Kリマスター技術でよみがえらせて効果的に活用。映像・音声資産に付加価値をつけ、かけがえない社会共有の財産として、視聴者のみなさまに還元します。

6. 幅広いジャンルで 多様性を確保



■ 多様な価値を認め合う共生社会の実現を後押し




年齢やジェンダー、国籍に関わりなく、障害のある人もない人も、あらゆる性的指向・ジェンダーアイデンティティーの人も、多様な私たち一人ひとりが、自分らしく生き生きと暮らせる社会の実現を後押しします。字幕放送、解説放送、手話放送、また、外国人向けのやさしい日本語のニュースなど、ユニバーサル放送・サービスの充実に努めます。また、出演者を含めたすべての人の人権を尊重します。

■ 全国ネットワークを生かして コンテンツを発信

日本各地の日々のニュースや地域の課題解決、その土地ならではの伝統・文化、地元を活気づけるスポーツなどを全国発信します。また、各地に共通するテーマについては、NHKの全国ネットワークを生かして各放送局が連動し、多角的にお伝えします。コンテンツを通じて各地を応援し、地域の発展に尽力します。

各波の編集方針

	編集方針	- 定時番組における放送時間- 放送番組の種別ごとの編成比率
総合テレビ 	公共メディアの基幹波。 暮らしの安全を支える「信頼できる情報」の担い手としての役割を果たし、正確かつ公平・公正な社会の指針となるニュースや、文化・娯楽・スポーツなどの多彩な番組を編成します。また、さまざまな手法で社会的な課題解決に取り組み、公共的価値を高めていきます。	-1日 24時間 を基本とします- ・教養番組 20% 以上 ・教育番組 10% 以上 ・報道番組 35% 以上 ・娯楽番組 20% 以上を編成します
教育テレビ (Eテレ) 	子どもから大人までの学びを支援するチャンネル。 幅広い世代に向けた教育、福祉、教養、趣味、実用など、多彩な番組を編成します。番組と配信コンテンツの連携を大事にして、視聴者のライフスタイルに寄り添い多様な形で学びの機会を提供します。また、誰もが楽しめるユニバーサル放送・サービスをより充実させます。	-1日 19時間 を基本とします- ・教養番組 15% 以上 ・教育番組 75% 以上 ・報道番組若干を編成します
NHK BS 	多彩な驚きと感動に出会えるテーマパーク的チャンネル。 自然、紀行、歴史、ドラマなど個性あふれるエンターテインメント。多彩でエキサイティングなスポーツ。世界の「いま」を迅速に、そして多角的に伝える国際情報。これまでのBSプレミアムとBS1の魅力を凝縮したバラエティ豊かな番組を編成します。	-1日 24時間 を基本とします- ・教養番組 20% 以上 ・教育番組 10% 以上を編成します
NHK BSP4K 	本物感・臨場感あふれる映像文化の殿堂。 自然、紀行、歴史、芸術、ドラマ、生中継など、超高精細映像の特徴を生かした見ごたえのあるコンテンツを多彩に取りそろえます。また、NHKが保有する貴重な映像資産を4Kリマスター技術でよみがえらせて、新たな価値を付加したアーカイブス番組として編成します。	-1日 24時間 を基本とします- ・種別ごとの編成比率は特に定めません
BS8K 	世界最先端の映像メディアチャンネル。 貴重な文化財や優れた芸術、ダイナミックな自然など、視聴者にとって新しい映像体験となるような多彩なジャンルの特集番組を編成します。また、最高水準の8K映像での記録を放送以外の手段でも提供して、社会貢献の役割を果たします。	-1日 12時間10分 を基本とします- ・種別ごとの編成比率は特に定めません

	編集方針	-定時番組における放送時間- 放送番組の種別ごとの編成比率
ラジオ第1 	安全・安心を担う音声基幹波。命と暮らしを守る情報をいち早く届けます。 また、多様なジャンルの番組をバランスよく提供し、さまざまな世代のリスナーに支持されるよう編成します。	-1日24時間を基本とします- ・教養、教育番組あわせて25%以上 ・報道番組35%以上 ・娯楽番組20%以上を編成します
ラジオ第2 	いつでもどこでも学べる生涯学習波。多様な知的欲求に応える番組を編成するとともに、語学番組の充実、インターネットサービスとの効果的な連携を図り、利用しやすい形で学びの機会を提供します。	-1日17時間を基本とします- ・教養番組15%以上 ・教育番組65%以上 ・報道番組10%以上を編成します
FM 	リスナーの興味・関心に深く応える専門チャンネル。音楽・芸能や文化・教養に加え、音声波再編を見すえて教育番組を編成します。また、災害などの緊急時には、ラジオ第1放送とも連携して機動的な編成を行います。	-1日24時間を基本とします- ・教養、教育番組あわせて40%以上 ・報道番組10%以上 ・娯楽番組25%以上を編成します